



園だより

# にじ

NO.9

香川大学教育学部附属幼稚園

2016年9月29日

コオロギの音楽会がひらかれている秋。幼稚園でも芸術の秋が始まっています。クラスで、絵の具などを使って描くことやスタンプすること、染めることを楽しみ、描くことそのもの、色や形のおもしろさを楽しんでいる姿が見られます。

先日の運動会。子どもたちはいろいろな姿や笑顔を見せてくれました。ダンスを弾みながら楽しんでいた人、かけっこに気合いの入っていた人、異年齢の友達とかかわることを楽しんでいた人、お兄さん・お姉さんらしい心優しさや我慢強さの見られた人、一人ひとりの中にみんなで運動会の活動を行ったからこそ、心や体に残ったものがあることを実感しています。

10月、子どもたちはこれまでの体験をもとに、より友達と、そしてもの・こととの出会いを楽しみ広げていこうとします。日々大きくなっていく子どもたちと共に私たちの心も育てていきたいと思っています。

## 泡遊びの不思議さへの追求と広がり

泡作りに熱の入っている青組さん。一見、同じような泡のように見えてしまうのですが、一人ひとりのこだわりがある大事な「泡」なのです。せっけんを選ぶところから始まり、せっけんの具合、水の量、ふわりとさせるまぜ方、まぜ具合に至るまで、いろいろな試行錯誤のもとで作られています。ある日のこと、テラス前に並べられたテーブルで友達と遊び始めました。(テーブルも自分たちでつくって場を整えることから始まっています)

並んでいる子どもたちは、多く話すことはないのですが、ときどき友達の様子をじっくり見たり、「どうやってみたの」「何を入れたの」と、大切な情報を聞いたりしています。子どもたちの観察力と情報のキャッチする力はすばらしいものです。まるで、「お仕事」をしているかのように、自分の満足のいく「泡」をめざして作っているのです。

～すれば～なるかもと推測をしたり、この考え・方法はいいようだと活用したり、言葉でわかるように友達に聞いたり伝えたり、いろいろな力が「泡づくり」を支えていると思います。子どもたちは、まっすぐに「すてきな泡」を作りたいと思う好奇心・関心の種が大切なもとになっていると感じさせられます。

ケーキ屋さんをひらいたSちゃんに、チケットをもらいました。ふんわりしたレモンケーキが食べられるとのこと。とてもとても楽しみです。

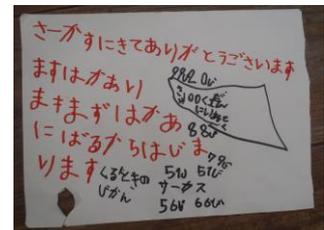


## ハッピー・サーカス始まるよ ～赤組からの発信！

運動会のダンスの活動を一緒に始めてしばらく経った日のこと、おばけごっこを楽しんでいた赤組のTくん男の子たちが、「サーカスだ！」と、中庭デッキをあっという間にサーカスに変身させていきました。とても魅力を感じたのでしょう。音楽に合わせて踊りたい、カッコいい青組のライオンになりたいという気持ちも大きかったようです。「音楽があるんだ」と話して西宇先生から借りてきた音楽をかけた子どもたちはとても弾んだ笑顔で踊り始めました。踊るのも楽しいし、見ていてくれるのもうれしい、そんな空気いっぱい、あちらこちらからみんなが集まってきました。そんなとき、黄組の音楽が流れ始めると、「ほら、黄組さんの番だよ、ピエロだよー」と声をかけた赤組さん。黄組の男の子に優しく働きかけます。運動会でのいろいろなかわりが、ここでもつながっているようでした。ピョンピョンとジャンプしながら踊り始めたRくん、にっこりわらって見ているIくん、梶先生は応援しながらダンス。拍手と笑顔が広がっていきました。

フィナーレの瞬間、「わからーん」と、照れたようにドキドキしている赤組さんを応援したのが、なんと青組さんのYちゃん、Aちゃん、Mくんたち。顔を見合わせるように向き合って、踊っているのです。～だよと、伝えることもうれしいことの一つ。サポートする側になれる青組さんの姿から、大きくなってきて、ちゃんと赤組さんの思いを感じているんだなど、嬉しさもぐんとふくらみました。

最後は、みんなの大拍手。「明日もしよう」の言葉に思いがつかっていました。



サーカスごっこ遊びの中で作られたポスター。思いを感じます。

9月は実習生さんが子どもたちから多くのことを学ぶ機会をもらいました。どのように遊びを考えようか、どのように思いを受けてかわかっていこうか、と真摯に向き合う姿は、保育者である私たちの学びにもなります。「初心忘れるべからず」です。子どもとの出会いに心動かし、新鮮な思いでかわわりを生み出すことを続けていきたいと思えます。



パーティーしながらお話



「～やって作るんだよ、先生」



「ぼくね、力持ち。」一緒に運ぶ



本気で勝負だよ、サッカー



染めるとどんな色？



ぼくのトンボは ○色メガネ♪

### 養護教育実習生からの「歯のはなし」

#### 歯フラシはこうして・・・



各組で、「歯のはなし」をしてくれました。歯磨きをして、歯を大事にすることについて、紙芝居や絵本で紹介してくれました。

この日、お弁当の後の歯磨きはいつもより、子どもたちががんばってしていたそうです。きっと、自分の歯について、考えたのでしょう。むし歯になったら、大変です。さて、家庭で、歯磨きは続いているでしょうか。園でも、食事の後、自分で行える子どもも増えていますが、遊びたいなど、ささっと済ませてしまいがちです。子どもたちの意識づけを喜田先生も

毎月の体・健康のお話でしてくれています。継続して、担任からの働きかけも行っていきます。六歳臼歯が、年長さんは生え始めてきます。また、乳歯が抜けていく頃です。「歯」への関心を高めて、健康な歯を続けて育てていくようにしましょう。



歯を一本一本ていねいに  
みがいていこう。

#### イメージをつなぐ 力を合わせる やってみる



じっと見入って

組木で作っている様々なもの。この日は、温泉づくりを始めていました。休みの間に気持ちいい温泉を楽しんだのでしょうね。組木をうまく重ね合わせて、口の字型の部分、水、温水エリアを作っていました。その中にはすべり台が作られ、角度を変えようと、知恵を出していました。組木を一段上へ上げることは、一人ではできません。Nくんが、「こっち、持つから動かして」と、「わかった」とKくん。しかし、一方を上げただけでは、ぴったり収まりません。反対方向を見て、Mくんへ「押してきて」と。しかし、状況がうまく伝わらず、口の字部分は動きません。「前に動くように、押してきて」「ここに、はめたい」と、今度は、よりわかるように話をしていきました。Mくんは、前の様子を見て、さっきよりも前へ押し、Nくんたちの思いが叶うように試していました。一本の木にはめ込まれて、完成。しっかり留まったので、滑り台大成功。試し滑りをして、にっこり笑顔となりました。工事をしていたNくんは、「みんな、滑れるよ！」と楽しさを分けていこうと友達へ伝えます。その後、いろいろなお客さんがやって来ました。難しいことも友達となら、可能にしていけることを遊びの中でも多々体験しています。



ここに入りたい



うまく行った！



## 秋に美味しい野菜や果物を味わって・・・



藤棚の下で落ち葉を集めていた時のこと、5歳児のSちゃんが、「秋だね～、はっぱがいっぱい」とつぶやくように話しかけてきました。私も「秋だね～」と、カサカサした音を聞きながら、傍らにいて、「秋と言えば、かき！だね」とまたSちゃん。そして、「幼稚園には、柿の木ないね」「植えたいね」「種をうめてみれば・・・どうかしら」「そうだ、それがいい」と弾んだ声で、考えているようでした。

きっとSちゃんは柿が好きなのでしょう。季節を感じる食べ物も年々少なくなっているように感じるのは生活がかわっているからかもしれません。また、私の「季節感」という感覚が鈍くなっているのかもしれない。

子どもの頃を思い出しました。毎年秋が来ると、祖母から梨が送られてきました。大きな箱に入っているたくさんの梨。私は、その梨が大好きでした。箱の中から、毎日1つつ取ってきて母にむいてもらうのが、楽しみの一つでした。ですから、私にとって、「秋と言えば・・・梨」なのです。

秋は、「食」の秋でもあります。かぼちゃやさつまいも、お米といういつも食べている食べ物でも「旬」の時期、子どもたちが秋ならではの味、香り、食感など感じていけるといいなと思います。

私の大好きな本の一つ、「ぐりとぐらとすみれちゃん」の絵本には、すみれちゃんの大きな大きなかぼちゃが登場します。大きいかぼちゃをなんとかゴロンと割ることができたぐりとぐらたちは、かぼちゃでいろいろな料理を作り、森の動物たちと分け合ってくださいのです。

とても大人気の絵本、みなさんもよくご存じかと思います。



作：なかがわりえこ  
絵：やまわき ゆりこ  
出版社：福音館書店

すみれちゃんのぐりとぐらのお料理が、どれもおいしそうで、食べてみたい・・・と思うものばかり。かぼちゃのぺたぺた焼き、かぼちゃプリン、かぼちゃコロッケ、かぼちゃかりんとう、かぼちゃ蒸しパン、かぼちゃせんべい・・・、きっとおいしいかぼちゃをたっぷり入れた「秋」の味なのでしょう。

調べた1つ紹介します。素朴な味を楽しんでみてください。

インターネットの【あそびのタネNo.1ほいくる】より

### かぼちゃのぺたぺた焼き

材料 10人分 かぼちゃ 丸ごと1個（約1200グラム）、直径4cmのぺたぺた焼き約30個分

片栗粉 小さじ2 油適量 ☆醤油大さじ2 砂糖大さじ2 水大さじ2

#### 作り方

##### ＜かぼちゃを蒸す＞

- ①かぼちゃを切り、種とわたを取り除く。
- ②かぼちゃを蒸し器にお湯を沸かし、10～15分程度蒸す。竹串などをさして、確認。
- ③かぼちゃをひと肌冷まして、スプーンで中身をくり抜く。

##### ＜ぺたぺた焼き＞

- ④くり抜いたかぼちゃをマッシャー・スプーンでつぶす。
- ⑤④に片栗粉を入れ、混ぜ合わせる。
- ⑥好きな形に成形する。（丸く、平らに）
- ⑦たれを作る ☆印の調味料を小鍋にかけ砂糖のとりみが出たら火を止める。
- ⑧フライパンに油を入れて⑥で作ったかぼちゃを入れる。途中返しながらかき、たれをつけて焼く。両面こんがり色になったら、ふたをして、弱火で3分ほど蒸し焼きにする。



次号、「読書の秋」ということで、お家の方、お子様の好きな絵本を教えてください、と思っています。